

九月二日、鳥上、横田、馬木地区で地区民体育大会が開催されました。  
 この日は晴天に恵まれ、小さい子どもからお年寄りまで多くの方が会場に集まり、大いに盛り上がりました。  
 会場となった各小学校のグラウンドでは、多くの種目が行われ、心地よい汗を流し親睦を深めました。



息をあわせて「大縄跳び」  
 (鳥上地区)



ゴール目指して「障害物リレー」  
 (横田地区)



カゴを狙って「玉入れ」  
 (馬木地区)

## 酒蔵奥出雲交流館に電気自動車用充電器を設置



▲設置された電気自動車用充電器

国道432号沿い、亀嵩地内にある道の駅「酒蔵奥出雲交流館」に、電気自動車用の充電器1基が、町内で初めて設置されました。

この充電器は、日産自動車(株)から寄贈されたもので、どなたでも24時間、無料で利用でき、約30分間で80%まで充電できる急速充電器です。

この充電器の設置により、環境にやさしい町づくりを推進し、また、観光客の利用増加が期待されます。

## 巨大大理石彫刻像お披露目

亀嵩地区出身で広島市在住の若槻一夫さんから、大理石彫刻像2体が寄贈され、8月28日、お披露目と感謝状贈呈式がありました。

若槻さんは、約40年前からふるさとである亀嵩地区に、寄附など様々な慈善活動が続けておられます。また、奥出雲町へのふるさと応援寄附の第1号でもあり、町の活性化に尽力いただいています。

今回寄贈されたのは、高さ5mにおよぶミロのヴィーナス像とダヴィデ像で、それぞれみなり遊園地と三成公園に設置されています。

貴重な芸術作品の鑑賞に、是非足を運んでみて下さい。



▲ダヴィデ像



▲ミロのヴィーナス像

## 空き家等実態調査の実施について

奥出雲町内において散見される空き家等について、地域内の景観・防災・防犯上の観点から、また、今後の空き家等の有効利用を通して移動・交流人口の増加を図るなどの方策を検討するため、町内の空き家等の調査を行います。

空き家調査員が各地区を順次まわり、調査を行います。自治会長の皆様や近所の方に聞き取り調査をさせていただく場合がありますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◀調査内容▶ 空き家の所在地、空き家の所有者、連絡先等

◀調査期間▶ 平成24年10月～平成25年9月(終了予定)

◀調査方法▶

【一次調査】空き家物件の情報収集(自治会長への聞き取り等)、現地調査(外観調査)

【二次調査】物件所有者の意向調査を行い、空き家登録制度(空き家バンク)へ登録可能な物件について、建物内の詳細調査

※一次調査の時期は、実施状況により変更となる場合があります。

※二次調査は空き家所有者の都合を調整し可能なところから実施します。

### ～定住相談員 兼 空き家調査員の紹介～

奥出雲町では、定住相談員を配置し、定住希望者の相談対応を行っています。



定住相談員 安部澄夫

【お問い合わせ先】 役場 地域振興課 電話54-2524 / 有線31-5264

## 横田高校華道部

### 花の甲子園中国地区大会でアメージング賞

高校生が生け花の腕を競う「Ikenobo花の甲子園2012」中国地区大会(池坊華道会主催)が9月2日、松江テルサで開催され、横田高校華道部が、入賞したチームに贈られるアメージング賞を受賞しました。

この大会には、中国地区から14校が出場し、横田高校を含む5校が1次予選を通過。2次予選は45分間で3人がそれぞれ作品を仕上げ、横田高校は「稲穂」をテーマに、稲穂を取り入れた「奥出雲の実りの秋」を花器一杯に表現しました。

出場した生徒は「1次予選は緊張したが、2次予選は楽しんでできた」と達成感に溢れていました。



▲作品を生ける生徒たち

## 斐伊川流域88kmの旅 第12回 おろちウォーク



8月24日から3日間、「第12回おろちウォーク」が開催され、出雲神話の舞台となった斐伊川に沿って、源流から河口までの約88kmを歩きました。

このイベントは、おろちウォーク実行委員会が主催し、北は北海道から南は熊本県まで約50人が参加しました。

1日目は、船通山山頂まで登山。2日目からは、ヴィラ船通山「斐乃上荘」から出雲市の斐伊川河口までの80kmを2日間かけてのんびりと歩きました。

参加者は、黄金色に色づき始めた稲穂や、穏やかに流れる斐伊川の流れなど、神話の里の景色を楽しみながらウォーキングの旅を満喫しました。